

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 11 日

事業名称		観光推進事業費 [観光推進事業]																																																						
予算科目	款 7	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費	事業番号	1																																																
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)																																																							
担当部署・課長名	産業振興		課		観光		係	課長名	佐伯 芳幸																																															
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	3 - 6																																																
【施策名】 観光事業の推進							総合計画書 (ページ)	79																																																
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)																																																			
	①市内外の人 ②観光イベント →				①∞ ②観光推進事業数																																																			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)																																																			
	国内外問わず、市外の方がより多く東和西市を訪問する。 (多くの観光客が来ている)				→ 交流人口(スイーツウォーキング応募者)のうち、市外の方の割合 市外の人/交流人口																																																			
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)																																																			
	主催又は共催で事業を実施した。 ①主催事業の実施 ②共催事業の実施 (スイーツウォーキング) ③観光情報の発信 (アプリ・うまべえ・マンホール・ひがしやまとスイーツ&グルメガイドブック)				→ 事業数 ①主催事業数 ②共催事業数 ③観光情報発信事業数																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">過去2年間の実績</th> <th>当該年度</th> <th colspan="2">成果目標</th> </tr> <tr> <th>平成31年度実績</th> <th>令和2年度実績</th> <th>令和3年度実績</th> <th>令和4年度目標</th> <th>令和5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象指標</td> <td>①の数值</td> <td>人</td> <td>① ∞ ② 10</td> <td>① ∞ ② 5</td> <td>① ∞ ② 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td>②の数值</td> <td>人</td> <td></td> <td>20%</td> <td>16%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>②の目標値</td> <td>%</td> <td>38.5%</td> <td>35.2%</td> <td>20%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td colspan="7">目標値設定の考え方 地域がにぎわい、各観光イベントに、前回を超える市外の方の割合を目指す</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>③の数值</td> <td>事業数</td> <td>10①1 ②3 ③6</td> <td>5①0 ②2 ③3</td> <td>4①0 ②1 ③4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	対象指標	①の数值	人	① ∞ ② 10	① ∞ ② 5	① ∞ ② 4		成果指標	②の数值	人		20%	16%		目 標	②の目標値	%	38.5%	35.2%	20%	20%	目標値設定の考え方 地域がにぎわい、各観光イベントに、前回を超える市外の方の割合を目指す							活動指標	③の数值	事業数	10①1 ②3 ③6	5①0 ②2 ③3	4①0 ②1 ③4						
		単位	過去2年間の実績				当該年度	成果目標																																																
平成31年度実績			令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標																																																		
対象指標	①の数值	人	① ∞ ② 10	① ∞ ② 5	① ∞ ② 4																																																			
成果指標	②の数值	人		20%	16%																																																			
目 標	②の目標値	%	38.5%	35.2%	20%	20%																																																		
目標値設定の考え方 地域がにぎわい、各観光イベントに、前回を超える市外の方の割合を目指す																																																								
活動指標	③の数值	事業数	10①1 ②3 ③6	5①0 ②2 ③3	4①0 ②1 ③4																																																			
事業費(実績)				円	21,833,937	3,973,360	3,848,147	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)																																																
3 経費	財源	一般財源	円	10,767,937	3,973,360	3,848,141																																																		
		特定財源(国・都・他)	円	11,066,000	0	6																																																		
		(うち受益者負担)	円	0	0	0																																																		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.0	3.0	3.0																																																		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0																																																		
職員人件費(再任用以外)		円	24,930,000	25,140,000	24,750,000																																																			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0																																																			
事業費+人件費		円	46,763,937	29,113,360	28,598,147																																																			
4 環境変化等	(1) 開始年度		24 年度																																																					
	(2) 環境の変化																																																							
平成24年4月に組織改正が行われ、産業振興課商工係に観光事業を取り扱う部署(商工観光係)が設置されたことに伴い、市内の観光資源の把握・発掘・創出・活用を行うことが明確に示された。それを目的として、市主催又は実行委員会等との共催で事業を行っており、各イベント(うまかんべえ祭、スイーツウォーキング、まちフォトコンテスト等)や観光キャラクター「うまべえ」の認知度は高くなっている。平成31年度には補助金を活用し、「うまべえ」のデザインマンホールを市内24ヶ所に設置した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントの中止が相次いだ。また、スイーツウォーキングは密集・密接を避けた形式に変更して開催した。																																																								

事業名称	観光推進事業費 [観光推進事業]				
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係	課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について ・中止となった事業について、開催を希望する声があった。 ・市外からの観光マップ等の送付希望についての問い合わせがあった。 ・東大和市観光キャラクターうまべえについての問い合わせがあった。				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：①、②、③、⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 市民協働をさらに適した形態とするには、各団体が自立した活動を行えるような仕組み、コロナ禍でも活動が減少してしまわないような環境づくりを整えたい。				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） ・コロナ禍でも可能な事業の実施方法を模索する必要がある。 ・交流人口の増加が見込めない状況で、観光や市内産業の新たなPR方法、サポート方法が必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 令和2年度でも実施をしたスイーツウォーキングの実施方法を取り入れ、令和3年度も事業を行った。令和3年度はレシートを集めて応募する方法でイベントを2回開催し、令和2年度の実績よりも交流人口が増加した。 また、他市の展示スペースを活用して、市外に広く当市の観光スポットやパンフレット等のPRを行った。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・コロナ禍でも可能な方法で市及び市内産業のPRを実施する必要がある。 ・スイーツウォーキングだけでなく、他の事業も実施できるように環境整備を行う必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 観光事業の推進 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・コロナ禍でも実施できる新たな方法を模索し、事業を実施する。 ・観光事業のサポート、市民協働の推進を図るために、新たなSNSも活用して広くPRを行う。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	・ホームページやSNSなどの積極的な活用での幅広い層へのPRを行う。 ・コロナ禍の制限の中で、実施可能な事業を行いながら、効果的に東大和市の産業振興につながる方法を整える。				